

様式 1

県立鬼怒商業高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

不易を押さえつつ時代の趨勢を見極めながら商業の知識等をもとに未来のあり方を深く考えることができる心身ともに健やかな人材を育成する。

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<p>○主体性：身近な課題を「自分事」としてとらえ、主体的に学ぶ態度。</p> <p>論理的思考力：客観的データに基づき、問いに対して仮説を立て、論理的に解決策を導く力。</p> <p>○情報活用能力：ICT ツール（Google Workspace 等）や多様な調査技法を活用し、情報を整理・発信する力。</p> <p>○協働性：正解のない問いに対し、他者と対話し協力して取り組む経験。</p>	<p>○探究プロセスへの評価：問いの設定、情報収集（インタビューや各種調査の質）、仮説検証のサイクルが適切に行われているかという活動の過程を評価する。</p> <p>○実践・パフォーマンス評価：高校生カフェでの接客・調理、SNS での広報、EC サイトの管理運用など、各役割における具体的な活動状況をルーブリック等で評価する。</p> <p>○リフレクションと成果物：活動全体のリフレクション（価値観の変化や困難への対処等）、発表に対するフィードバック、および成果物（レポート・商品企画書・研究報告書）を通じて多角的に評価する。</p>	<p>スキル習得における ICT ツールの活用支援、グループワークにおける役割分担の調整、専門家による出前講座を通じた多角的な視点の提供を行う。</p>

様式 1

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（ 3 学年 課題研究 ）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1 年	<p>【身近な地域・社会課題と SDGs】</p> <p>①導入：マインドマップを用いて「趣味」と「社会課題」を接続し、興味を言語化する。</p> <p>②スキル習得：情報リテラシー、調査技法（インタビュー・アンケート）、ICT 活用術の習得。</p> <p>③調査・仮説：具体的なリサーチクエスチョンを設定し、データ収集とアクションプランを立案する。</p> <p>④実践：SNS 発信、地域農家・企業への提案、生成 AI 活用ツールの試作等の社会アプローチ。</p> <p>⑤振り返り：学びをキャリア形成に繋げるリフレクション。</p>	<p>結城市まちづくり協働課</p> <p>出前講座</p> <p>地域商店街</p> <p>地元農家</p> <p>地元企業など</p>	<p>地域の課題を自分事として捉え、科学的な手法で解決策を模索できる生徒</p>
2 年	<p>【職業・自己のキャリアと社会】</p> <p>①興味の深掘り：将来就きたい・興味のある職業を調べ、「なぜ興味があるのか」を分析する。</p> <p>②調べた職業が「社会のどのような課題を解決しているか」に着目し、自分たちが実際に調査・検証できる具体的な「問い」に落とし込み、グループで共有する。</p> <p>③仮説・調査：問いに対する仮説を立て、文献調査、アンケート、専門家へのインタビュー、実験・実践を行う。</p> <p>④発表・評価：成果を発表し、周囲からのフィードバックを受けて不足点を把握する。</p> <p>⑤自分軸の確立：探究を通じた見方の変化を整理し、将来の進路実現へ繋げる。</p>	<p>進路ガイダンス</p> <p>職業人（専門家）へのインタビュー</p> <p>講演会講師</p>	<p>自ら調べ動くプロセスを通じ、確かな「自分軸」を持って進路を選択できる生徒</p>

様式 1

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
3年 課題 研究	<p>4コースに分かれ、結城市産とうもろこし等の地域資源を活用したビジネスを展開する。</p> <p>①高校生カフェ：カフェ運営の企画、商品企画・調理・販売。</p> <p>②IT・広報班：Web・SNS更新、広報グッズ作成、イベント企画。</p> <p>③E C L I N E班：LINE通販事業の拡大、販売戦略の検討・改善。</p> <p>④商業研究発表班：各班の活動を調査研究し、報告書作成・発表。</p>	<p>結城市農政課 まちづくり協働課 企画政策課 秘書課</p> <p>株式会社 TMO 結城 株式会社 Region Line など</p>	<p>専門スキルを武器に社会へ価値を提供し、地域の未来をデザインできる実践的リーダーとなる生徒</p>